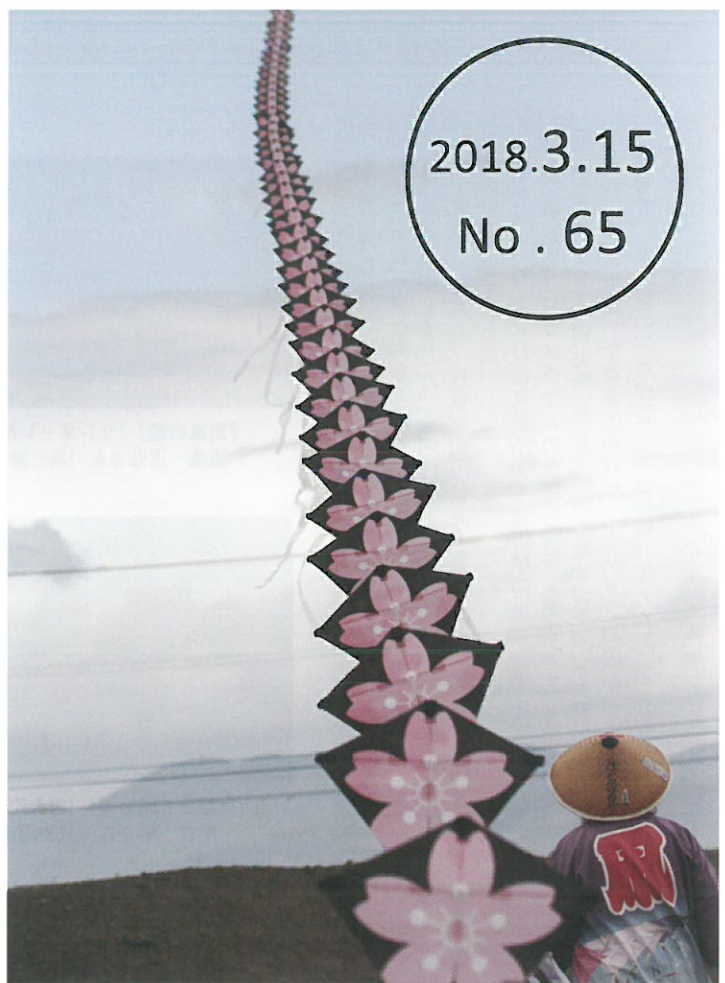


広報 けせんぬまもとよし 広域

第2回 気仙沼・南三陸 フォトコンテスト 入賞作品決定!!

※4月22日(日)までリアス・アーク美術館にて入賞作品展開催中!!



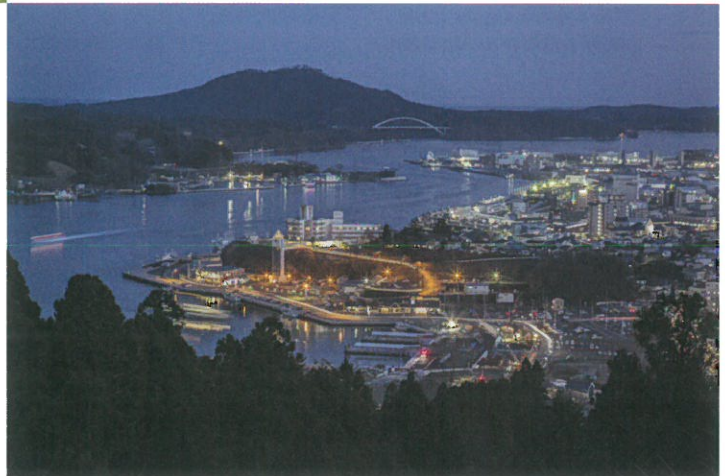
2018.3.15
No. 65

最優秀賞：「天旗まつり」(気仙沼市波路上)
鈴木 栄 さん(気仙沼市)

※「題名」(撮影地)
氏名(住所)の順



優秀賞【暮らし・日常部門】：「まつりがゆく」(南三陸町入谷)
佐藤 善治 さん(石巻市)



優秀賞【風景部門】：「復興進む街の灯」(気仙沼市安波山)
大橋 政博 さん(仙台市)

CONTENTS

- フォトコンテスト入賞作品……………②
- 広域消防 平成29年消防統計……………③
- 人事行政の運営等の状況について……………④
- リアス・アーク美術館
平成30年度の催事紹介……………⑥
- 平成30年度組合一般会計予算……………⑧
- 2018圏域イベント情報……………⑧

佳作

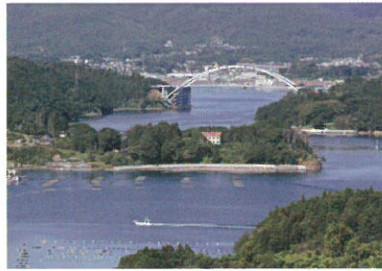
※「題名」(撮影地)
氏名(住所)の順



「気嵐の朝」(サンオーレ袖浜)
遠藤 正弘さん(南三陸町)



「雲と連風」(波路上)
相沢 開さん(石巻市)



「大島架橋を眺める」(唐桑町向ヶ森)
熊谷 敏さん(気仙沼市)



「菜の花咲く頃」(本吉町道貫)
小野寺 洋樹さん(気仙沼市)

「未来に残したい、私たちの今」をテーマに、気仙沼市・南三陸町で撮影された写真を対象とした、当組合主催のフォトコンテストの入賞作品が決定しました。今回は、五十四人の方から「風景部門」に六十九点、「暮らし・日常部門」に五十九点、計一二八点の作品をご応募いただきました。

審査は、一月十九日に気仙沼・本吉広域防災センターで行われ、審査委員長でプロカメラマンの斎藤秀一氏(斎藤秀一写真事務所・仙台市在住)より、「震災後、最も多い応募数で「星空」、「大島架橋」、「お祭り」、「かき小屋」など全体のバリエーションが広がっています。最優秀賞、優秀賞の三点が特に印象に残りました。」との総評をいただいております。

「星空と鶴亀大橋」(松崎前浜)
佐々木 翔さん(石川県金沢市)



「龍は星の海を泳ぐ」(岩井崎)
中園 伸太郎さん(気仙沼市)



「銀描の海」(志津川湾)
菊田 清一さん(気仙沼市)



「ぬくもり」(志津川漁港)
小野寺 清春さん(南三陸町)



「波伝谷獅子舞」(戸倉波伝谷)
藤島 純七さん(仙台市)



「撮るより牡蠣帆立!!」(唐桑町かき小屋)
伊藤 薫さん(気仙沼市)

賞候補

※「題名」氏名
(住所)の順

- ▽「大島大橋」(り上げ工事) 佐藤武夫さん(気仙沼市)
- ▽「海神様参上」 村上淳さん(気仙沼市)
- ▽「お田植え祭」 木村文武さん(多賀城市)
- ▽「冬のたより」 中園伸太郎さん(気仙沼市)
- ▽「大漁の朝」 藤原栄一さん(埼玉県春日部市)
- ▽「巻網サバ」 入札開始2時間前
- 遠藤洋さん(気仙沼市)
- ▽「ひころの里秋祭り」 シシ舞いにありがとう!
- 板橋知子さん(寛谷市)
- ▽「手筒花火で応援」 遠藤正弘さん(南三陸町)
- ▽「出航」 吉田真一さん(気仙沼市)
- ▽「雨の中、熱演」 藤島純七さん(仙台市)

広域行政圏市町村職員等研修会を開催しました

1月16日(火)、気仙沼市地域交流センターにおいて、関西学院大学大学院経済学研究科並びに人間福祉学部教授の小西砂千夫氏を講師にお迎えし、「新地方公会計制度と自治体の取り組み方」と題してご講演いただきました。

研修では、固定資産台帳を整備することの重要性について説明され、その台帳を媒介に各担当課が所管している施設について、どのように管理すれば



いいかという「公共施設の適正管理に対する見直し」を持つてもらおうことが特に大切であり、それこそが「公会計の活用」であると話されました。

平成29年消防統計



広域消防女性活躍推進オリジナルキャラクター
(左)かなえちゃん (右)みなみちゃん

平成29年の火災について

当広域管内における平成29年の火災件数は25件。前年に比べ9件の増加となりましたが、昭和47年の広域消防発足以来3番目に少ない件数となりました。

火災の種別は、建物火災が14件、車両火災が1件、林野火災が1件、その他火災が9件発生しています。

出火原因別で見ると、最も多いのが「たき火・ゴミ焼き」で6件、続いて「ストーブ」、「マッチ・ライター」、「線香」及び「放火・放火の疑い」がそれぞれ2件となっています。

火災による死者は1人（前年比1人減）、負傷者は8人（前年比7人増）でした。

「火災による死者ゼロ」を目指して

当広域管内では、昭和47年の広域消防発足以来、火災による死者ゼロの年は、昭和50年と60年の2年のみで、毎年のように尊い命が失われています。

総務省消防庁が公表した平成29年版消防白書によると、平成28年に全国で発生した住宅火災による死者数（放火自殺者等を除く）987人のうち、逃げ遅れによる死者数が40人で49%を占めており、時間帯では午前2時から午前6時までの時間帯において多くの死者が発生しています。

火災から自身と大切な家族の命を守るために、必要な部分へ住宅用火災警報器を設置しましょう。また、すでに設置してある住宅用火災警報器についても、点検を行うなどの管理を徹底し、設置から10年を目安に新しい物に取り換えましょう。ともに「火災による死者ゼロ」を目指しましょう！



※住宅用火災警報器の点検方法は消防本部のHPをご覧ください。
<http://www.km-fire.jp/>

山火事の防止について

これからの季節、空気が乾燥し風が強く、林野火災が発生しやすい時期を迎えます。昨年、岩手県釜石市において発生した大規模な林野火災は記憶に新しいところですが、過去に発生した林野火災の主な原因は、ゴミ焼き、たばこの投げ捨て、たき火、子供の火遊びと、そのほとんどが人的要因です。

ちょっとした不注意が、貴重な森林資源を失い、地域の安全を脅かすことから、屋外における火の取扱いは十分注意しましょう。

平成29年の救急について

当広域管内における昨年の救急出動は、3522件で、3007人が搬送されました。これは、一日平均9.7回救急車が出動し、圏域住民の25人に1人が救急車を利用したことになります。これらを前年と比較すると、出動件数で208件、搬送人員で14人の増加となっています。

事故種別では急病が全体の約65%、年齢別では65歳以上の高齢者が約69%を占めています。

また、傷病程度別では入院加療が必要な中等症が約45%と最も多く、次に入院加療を必要としない軽症が約38%を占めています。

おとな救急電話相談 #7119

宮城県は、夜間・休日の急な病気やけがで、救急車を呼ぶべきか迷うときや、応急処置の方法が知りたいとき、の相談ダイヤルを平成29年10月1日より開設しました。

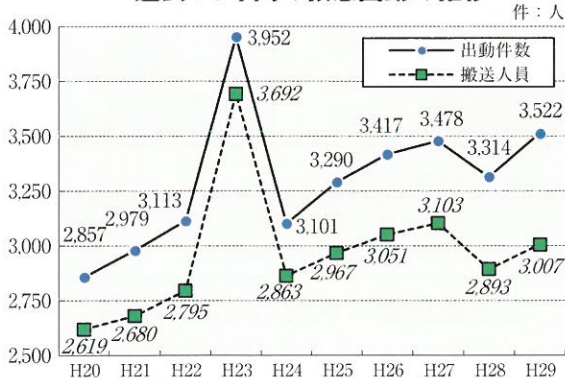
看護師などが助言し、受診の必要性や医療機関を案内しますので、ご利用ください。



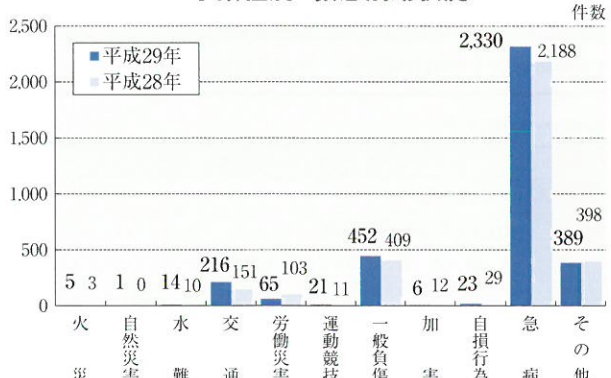
真に救急を要する方のため 救急車の適正な利用をお願いします



過去10年間の救急出動の推移



事故種別 救急活動状況



(3) 一般会計における特殊勤務手当

区 分	全職種
支給実績（平成28年度決算）	1,629,280円
手当の種類（手当数）	5種類
支給職員1人あたりの平均支給年額（平成28年度決算）	12,069円
職員全体に占める手当支給職員の割合（平成28年度決算）	69.6%
内容	①救急業務手当 1回 100円
	②機関勤務手当 1回 100～80円
	③火災・救助業務手当 1回 200円
	④高速消防救急艇勤務手当 1当務 200円
	⑤潜水業務手当 1回 500円

(4) 一般会計における時間外勤務手当

年度	支給総額	職員1人あたりの支給年額
平成28年度	31,972,406円	174,713円
平成27年度	31,681,924円	173,125円

(5) 一般会計におけるその他の手当（平成29年4月1日現在）

区分	内 容
扶養手当	1 配偶者：10,000円、子：8,000円
	2 配偶者がなく、扶養親族がいる場合： 子：10,000円、父母等：9,000円
	3 その他の扶養親族： 1人につき、6,500円
	4 特定扶養（満16歳～22歳までの子）： 1人につき、5,000円加算 ○国の制度との異同：国と同じ
住居手当	1 借家・借間に居住している職員： 27,000円を限度に家賃に応じて支給 ○国の制度との異同：国と同じ
	1 交通機関などの利用者： 55,000円を限度に運賃に応じて支給 2 交通用具の利用者： 使用距離に応じて、2,400円～32,700円を支給 ○国の制度との異同： 1については、国と同じ 2については、国は2,000円～31,600円を支給

6. 特別職の報酬等

（平成29年4月1日現在）

職 名	区分	報酬額	職 名	区分	報酬額
管 理 者 副 管 理 者	年額	69,000円	教育委員会 教育長 委 員 員	年額	48,000円
	年額	60,000円		日額	7,400円
議 会	年額	56,000円	情報公開・個人 情報保護審 査会委員	日額	30,000円
	年額	48,000円		日額	7,400円
	年額	46,000円			
監査委員	日額	7,400円	地方公務員法第三条第三 項第二号及び第三号に掲 げる特別職の職員	日額	予算の範囲内 で任命権者が 定める額
	日額	8,300円		日額	

7. 職員の勤務条件、サービス、研修等の状況

(1) 勤務時間（一般職の標準的なもの）

勤務時間	始業時間	終業時間	休憩時間
1日7時間45分	午前8時30分	午後5時15分	午後0時から 午後1時

(2) 休暇の種類など

種 類	内 容
年次有給休暇	年20日付与
病気休暇	90日以内の必要な期間
特別休暇 （主なもの）	結 婚 休 暇：連続する7日以内 忌 引 休 暇：配偶者10日、血族の父母7日など 夏 季 休 暇：7月～9月までの期間において3日以内 産前・産後休暇：産前8週間以内の申し出た期間、産後8週間 育児時間休暇：1日1時間または1日2回、それぞれ30分
その他の休暇	介 護 休 暇：連続する6ヶ月の期間内

(3) 育児休業の状況（平成28年度）

区 分	男 性	女 性	計
取 得 者	0人	0人	0人

(4) 職員の分限及び懲戒の処分状況（平成28年度）

①分限処分

免 職	休 職	降 任	降 級	計
0人	0人	0人	0人	0人

②懲戒処分

免 職	停 職	減 給	戒 告	計
0人	0人	0人	0人	0人

(5) 職員のサービスの状況

職員のサービス規律は、次の条例などに規定し、公務員としての綱紀の保持のため、随時文書などで職員への周知徹底を図っています。

- ①職員のサービスに関する規則
- ②職員の職務に専念する義務の特例に関する条例・規則

(6) 職員の研修と勤務成績の評定状況（平成28年度）

①職員研修の実施状況

区 分	受講者数(延べ数)	研 修 名 等 (人数)
宮城県消防学校	28人	・初任総合教育(9) ・初級幹部科(2) ・火災調査科(2) ・警防科(2) ・危険物科(2) ・救急隊長教育講習(1) ・救急救命士再教育講習(2) ・救急救命士処置拡大講習(8)
救急救命東京研修所	1人	・救急救命士養成(1)
そ の 他 (宮城県主催等)	206人	・人事評価研修(176) ・時事講演会(18) ・ライフプランセミナー(1) ・その他(11)
合 計	235人	

②勤務成績の評定の状況

職員がその職務を遂行するに当たり、発揮した能力及び挙げた業績を把握した上で行われる人事評価制度を導入し、これを任用、給与、分限その他の人事管理の基礎とするほか、職員の人材育成や組織全体の士気及び公務能率の向上を図る目的として活用します。

8. 職員の健康管理及び公務災害補償制度の状況（平成28年度）

(1) 健康診断の状況

区 分	受診者数(延べ数)	内 容 等 (人数)
総合健康診断	226人	・人間ドック(26) ・脳ドック(9) ・各種がん検診(191)
定期総合診断	342人	・法定健康診断等 春季(189) 秋季(153)

(2) 公務災害の認定状況

加 入 団 体	認定件数
地方公務員災害補償基金 宮城県支部	1件

9. 公平委員会の状況（平成28年度）

県人事委員会より報告を受けた公平委員会の業務の状況

- ①勤務条件に関する措置要求：該当なし
- ②不利益処分に関する不服申立：該当なし

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合 人事行政の運営等の状況について

平成29年12月

組合職員の任免、給与、勤務条件などの公平性及び透明性確保のため、地方公務員法及び組合条例の定めにより、人事行政の運営等の状況について公表します。

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合
管理者 気仙沼市長 菅原 茂

1. 職員の任免及び職員数に関する状況(特別職を除く)

(1) 職員数の状況

区分	H28.4.1現在 職員数 (うち再任用者数)	H28.4.2~H29.4.1			H29.4.1現在 職員数 (うち再任用者数)
		退職者数	再任用者数増減	新規採用者数	
一般職	12(0)人	0人	0人	0人	12(0)人
消防職	183(3)人	4人	△3人	3人	182(0)人
合計	195(3)人	4人	△3人	3人	194(0)人

(2) 部門別職員数の状況

区分 部門	職員数		対前年 増減数	主な増減理由
	平成29年度	平成28年度		
一般行政 部門	事務局	7人	7人	0人
	美術館	5人	5人	0人
消防部門	消防	182人	183人	△1人 新規採用者3人、退職者4人
合計	194人	195人	△1人	

※組合定数条例で職員の定数は211人となっている。

(3) 年齢別職員構成の状況 (平成29年4月1日現在)

区分	20歳 未満	20~ 23歳	24~ 27歳	28~ 31歳	32~ 35歳	36~ 39歳	40~ 43歳	44~ 47歳	48~ 51歳	52~ 55歳	56~ 59歳	60歳 以上	計
職員数 (人)	5	32	43	20	18	20	29	8	5	10	4	0	194
構成比 (%)	2.6	16.5	22.2	10.3	9.3	10.3	14.9	4.1	2.6	5.2	2.1	0.0	100

2. 人件費の状況(一般会計決算)

区分	歳出額 (A) 千円	実質収支 千円	人件費 (B) 千円	人件費比率 (B/A)	(参考) H27年度の 人件費比率
平成28年度	2,111,945	16,231	1,352,217	64.0%	74.4%

3. 職員給与の状況

(1) 職員給与費の状況(一般会計の当初予算)

区分	職員数 (A)	給与費			1人あたり 給与費 (B/A)千円
		給料 千円	職員手当 千円	期末・勤勉手当 千円	
平成29年度	194人	637,114	182,107	241,672	5,469

※1 職員手当には退職手当を含みません。
※2 特別職に支給される報酬は含みません。

(2) 職員の平均給料月額、平均給与月額及び平均年齢の状況 (平成29年4月1日現在)

区分	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
一般行政職	310,129円	345,312円	41.8歳
消防職	268,722円	333,300円	33.0歳
宮城県(一般行政職)	320,409円	401,146円	42.2歳
国(一般行政職)	330,531円	410,719円	43.6歳

※平均給与月額は平均給料月額に扶養手当、通勤手当、住居手当などの手当を加えたものです。

(3) 職員の初任給の状況 (平成29年4月1日現在)

区分	初任給	区分	初任給
一般行政職	大学卒 178,200円	宮城県 (一般行政職)	大学卒 186,100円
	高校卒 146,100円		高校卒 151,500円
消防職	大学卒 204,100円	国 (一般行政職)	大学卒 178,200円
	高校卒 164,900円		高校卒 146,100円

4. 職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数の状況 (平成29年4月1日現在)

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	合計
標準的な職務内容	主事	主事	主任	主幹	副館長	事務局次長	事務局長	
職員数	1人	2人	4人	2人	1人	1人	1人	12人
構成比	8.3%	16.7%	33.4%	16.7%	8.3%	8.3%	8.3%	100%

(2) 消防職の級別職員数の状況 (平成29年4月1日現在)

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	合計
標準的な職務内容	消防士	消防士長	主任消防士	係長 所長補佐	出張所長 課長補佐 当直司令 主幹	署長 副署長 分署長 指揮隊長	消防長 参事	
職員数	67人	42人	21人	21人	18人	11人	2人	182人
構成比	36.8%	23.1%	11.5%	11.5%	9.9%	6.1%	1.1%	100%

5. 職員手当の状況(平成28年度)

(1) 期末手当・勤勉手当(支給割合)

区分	手当の内容				
	区分	6月期	12月期	年計	増減(対前年度)
期末手当 勤勉手当	支給割合				
	期末手当	1.225月分	1.375月分	2.600月分	
	勤勉手当	0.800月分	0.900月分	1.700月分	0.100月分
	計	2.025月分	2.275月分	4.300月分	0.100月分

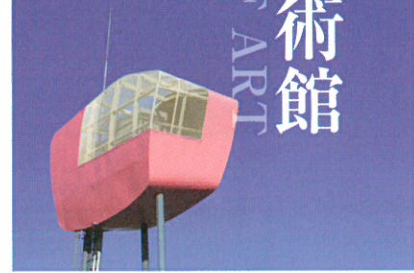
職制上の段階、職務の級等による加算措置：5%~15%

(2) 退職手当(支給率)

区分	手当の内容				
	区分	勤続20年	勤続25年	勤続35年	最高限度額
退職手当	支給率				
	自己都合	20.445月分	29.145月分	41.325月分	49.590月分
	勤奨・定年	25.55625月分	34.5825月分	49.590月分	49.590月分

1. その他の加算措置：定年前早期退職特例措置(2~20%加算)
2. 1人あたり平均支給額：7,914千円(平成28年度退職者の平均)

平成30年度の催事紹介



—開館時間—

午前9時30分～午後5時
※最終入館は午後4時30分まで

—休館日—

毎週月・火曜日、祝日の翌日
年末年始・メンテナンス休館

—常設展観覧料—

一般：500 (400) 円
大学生・専門学生：400 (300) 円
高校生：300 (200) 円
小・中学生：150 (100) 円
※()は20名以上の団体料金

—所在・連絡先—

〒988-0171 気仙沼市赤岩牧沢 138-5
TEL：0226-24-1611
FAX：0226-24-1448
Email：riasark.m@nifty.com
http://www.riasark.com

※展覧会の会期等は都合により変更となる場合があります。ご利用の際は事前にチラシやホームページ等にてご確認ください。

TOPIC
【ランドスケープ・オブ・エヌ・イー vol.5】
東北・北海道を描いた絵画
入賞作品決定！

昨年末に行われた「LANDSCAPE of N.E.」第5回東北・北海道の風景「公募展」審査会にて、応募作品から最優秀賞1点、優秀賞4点が選出されました。最優秀賞に輝いたのは岩沼市在住、今野裕結さんの「松島の稲架」。田園のまばゆい日の出を美しい色彩で描いた油彩作品です。

最優秀賞「松島の稲架」今野裕結(宮城県岩沼市在住・24歳)



LANDSCAPE of N.E.
東北・北海道の風景「公募展」

4月1日(土)～4月22日(日)

人間形成に大きく影響する日常的な暮らしの風景や、土地の記憶が刻まれた風景。本展は東北・北海道を舞台に、日々失われつつある風景を絵画として未来に残すことを目的に、平成20年から隔年で継続開催しています。第5回目となる本展では入賞・入選作品併せて34点を紹介します。未来へ残したい三十四の風景をぜひ会場でごゆっくりご覧ください。【観覧無料】



優秀賞「私の通学路」(北海道北広島市の風景)

伊藤碧海(北海道札幌市在住16歳)

リアス・アーク美術館収蔵作品展
新たな船出()
美術再発見

7月7日(土)～8月26日(日)

リアス・アーク美術館では、当圏域と東北・北海道に所縁のある美術家の作品を中心に収集しています。その多くは過去に企画展を開催した作家からの寄贈・寄託によるものです。本展はその収蔵作品の展示や関連企画を通し、当館が開館より蓄積してきた成果を圏域の方々へ還元するべく、収集作品に触れる機会を提供し、美術の魅力や面白さを再発見していただくことを主目的としています。会期中は作品展示のほか、学芸員によるギャラリートーク(作品等解説会)を開催します。また、美術・作品鑑賞に関する講演会や出前授業等の出張企画も開催します。【観覧無料】

多様なアートを体感しよう！

N.E.blood 21

2019年 後期= 2月9日(土)～3月17日(日)

2018年 前期= 5月3日(木)～6月17日(日)

小野寺綾展
vol.69
(宮城県・絵画)

菊田佳代展
vol.68
(宮城県・ガラス)

是恒たけのぼる展
vol.67
(山形県・平面)

加藤広貴展
vol.66
(北海道・絵画)

本展は平成14年度から続く、東北・北海道在住の若手作家を紹介するシリーズ企画です。平成30年度は、第66～69弾目となる4名の作家を2期に分けて紹介します。いずれも観覧無料です。主題のN.E.はNorth Eastern(東北・北海道地域)、bloodは血筋、活力、気質、情熱、21は21世紀、未来をつくるという意味です。※先着順でパンフレットを無料で配布します

作品募集!

好評企画第3弾!

リアス・ジュニア

絵画コンクール vol.3

本企画は当圏域内小学生を対象とした絵画公募です。「あんなことこんなことしたよ」をテーマに作品を募集し、応募作品全てを展示します。入賞者には賞品として2万円分の地域商品券(大賞)をはじめ、図書カード等が贈られます。9月初旬より学校を通じて募集を開始します。気仙沼市・南三陸町の小学生のみならず!ご応募お待ちしております!

◆**展覧会期は12月5日(水)〜12月24日(月)です。**【応募・観覧ともに無料】

新! 方舟祭2018

9月27日(木)〜11月4日(日)

方舟祭(はこぶねさい)は当館主催の市民参加型文化祭です。内容は例年同様で、参加者の絵画・写真・手工芸等の各種展示のほか、踊りや楽器演奏など幅広いジャンルを紹介いたします。

6月初旬に参加募集の受付を開始する予定です。どうぞお気軽にご参加・ご来場ください。【**応募・観覧無料**】

常設展

共通チケットで①②③をご覧いただけます。

① 歴史・民俗資料展示

「方舟日記〜海と山を生きるリアスな暮らし」

当地域の歴史民俗・生活文化を【食】をキーワードにひも解き、手描きイラストや写真を添えて紹介しています。

身近な行事や風習のルーツ、豆知識などを紹介するミニ展示「方舟漂流記」も好評開催中です。

② 収蔵美術作品展示

当館と所縁のある東北・北海道を中心とした美術家の作品約70点を作家紹介とともに展示しています。



「気仙沼港」鈴木森繁(1992年・水彩)

震災以前〜1992年当時の南町海岸や魚町の風景が描かれている。現在となつては歴史的にみても貴重な作品の一つといえる。このほか、漁船の風景や唐桑の風景を描いた水彩作品がある。

③ 東日本大震災の記録と津波の災害史

当館学芸員らが撮影した記録写真と収集した被災物品に解説を添え、明治29年・昭和8年の津波災害史の資料等とともに展示しています。

夏休み! 親子クラフト教室

親子で楽しく工作しませんか!? ご好評いただいている本教室では、今回もダンボールを材料に小型の家具を制作する予定です。夏休み期間に3回開講しますので、ご都合に合わせて日程を選択できます。詳細は夏休み前に学校へ配布するチラシや7月頃に当館HPをご覧ください。参加・材料費は無料です!

【定員各日8組・電話でのお申込み】



前回の親子クラフト教室の様子

前回は小型の棚を制作しました。最後に飾り付けと色塗りをして完成! 紙素材のダンボール! と侮るなかれ。丈夫で素敵な家具ができるんです!

出前授業のご案内

当館では美術に関する講義や工作教室の講師として学芸員を派遣する「げいじゅつぶんか出前授業」を受付けています。内容や時間は応相談。講師派遣料・交通費は不要です。お気軽にご相談・お申込みください。



過去の出前授業(工作講座)の様子

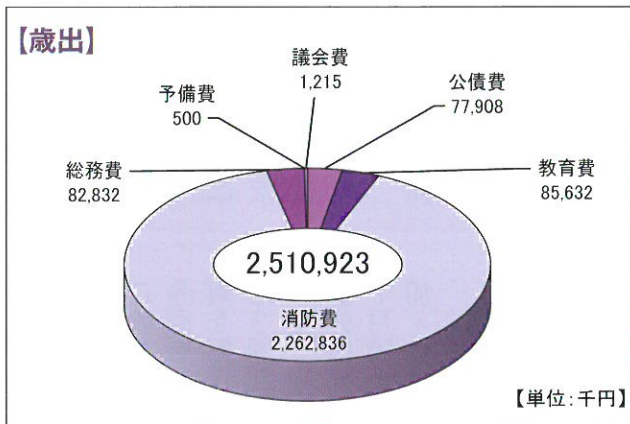
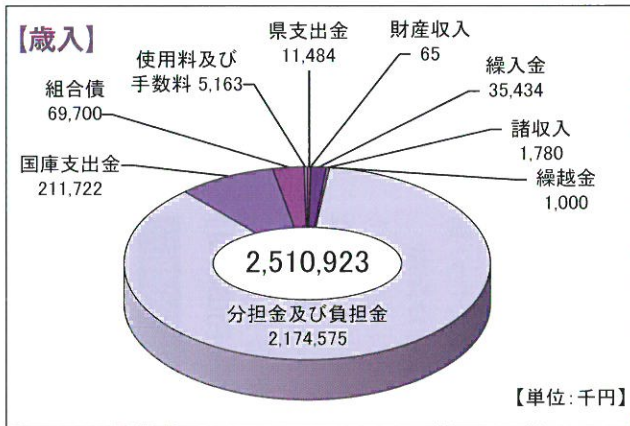
共催展覧会(予定)

- 第56回げいせい展 / 9月12〜17日
- 気仙沼市立小中学校図工・美術作品展・ユネスコ世界児童画展 / 11月9〜11日
- 第13回気仙沼市立小中学校児童生徒書初め展 / 平成31年1月25〜27日
- 第36回気仙沼支援学校児童生徒作品展 / 平成31年1月25〜30日

平成30年度 組合一般会計

予算のあらまし

第204回組合議会定例会で『平成30年度一般会計予算』が原案のとおり承認され、一般会計の歳入・歳出予算総額は、歳入歳出それぞれ25億1,092万3千円となりました。



平成30年度の主な事業

- 南三陸消防署移転新築災害復旧業務 (建設工事・監理業務)
- 水槽付消防ポンプ自動車 I - A型更新 (本吉分署)
- はしご車保守点検
- 歌津出張所仮設庁舎解体撤去工事
- 救急救命士養成
- N.E.blood21 vol.66 ~ vol.69
- 収蔵作品による「新たな船出～美術再発見」展

歳出予算

議会費 1,215千円 (0.05%) 組合議会運営費	
総務費 82,832千円 (3.30%) 一般事務費、計画策定費、 リアス・アーク美術館企画事業費等	
消防費 2,262,836千円 (90.12%) 防災・消防・救急活動費・施設管理費等	
教育費 85,632千円 (3.41%) リアス・アーク美術館施設管理費等	
公債費・予備費 78,408千円 (3.12%) 組合債の返済金等	

※()内は構成比

2018 圏域イベント情報

※開催日及び場所は、変更になる場合があります。詳細については、気仙沼市役所・南三陸町役場にご確認ください。

3月

- 25日(日) さんりくるっと (気仙沼 海の市)
- 25日(日) 牡蠣・わかめまつり福興市 (志津川仮設魚市場特設会場)



4月

- 15日(日) 第35回河北新報気仙沼つばきマラソン (気仙沼 大島)
- 29日(日) ほや・ホタテまつり福興市 (志津川仮設魚市場特設会場)



5月

- 5日(土) 春季都市緑化推進事業「春のみどりを楽しもう」 (安波山公園)
- 中旬(予定) 第16回安波山植樹事業 (安波山公園)
- 26日(土)～27日(日) (予定)
第1回 気仙沼観光フェスティバル (気仙沼 海の市)
- 27日(日) ほやまつり福興市 (志津川仮設魚市場特設会場)

6月

- 1日(金)～7日(木) 水道週間 (気仙沼市水道事務所 館山・新月浄水場)
- 10日(日) 歯の健康のつどい (イオン気仙沼店)
- 10日(日) 気仙沼市「花のみち」一斉植栽 (気仙沼市花のみち45)
- 中旬(予定) イオンふるさとの森づくり (三峰公園)
- 17日(日) 銀ざけまつり福興市 (志津川湾仮設魚市場特設会場)
- 未定 徳仙丈つつじまつり (徳仙丈山)